

【ゲスト】

雨宮庸介

2023年度多摩美術大学アートとデザインの人類学研究所主催

Yosuke

第2回「記憶の道」シンポジウム

AMEMIYA

港千尋

Chihiro

MINATO

榎木野衣

Noi

SAWARAGI

佐藤直樹

Naoki

SATO

金沢百枝

Momo

KANAZAWA

安藤礼二

Reiji

ANDO

# 石の物語

## Stone Story

2023年11月10日(金)

19時-21時 (開場18時40分)

多摩美術大学TUB

参加無料・事前申込制

オンライン同時配信

2023年度多摩美術大学アートとデザインの人類学研究所主催  
第2回「記憶の道」シンポジウム

# 石の物語 Stone Story

日時

2023年11月10日(金)

19時-21時(開場18時40分)

会場

## 多摩美術大学 TUB

(東京ミッドタウン・デザインハブ内)

参加無料(一定員30名事前申込制)

オンライン同時配信(申込不要)

詳細・申込方法は研究所ウェブサイトをご覧ください。



「記憶の道」シリーズとして第2回となる

本年度のシンポジウムは、

「石の物語」をテーマに開催します。

石器の発明から建築の素材にいたるまで、

「石」はつねに人間とともにあり、

その歴史と記憶を伝えてきました。

文字が刻まれ、石像が掘り出される石は、

人類にとって、

デザインとアートの礎でもあります。

美術家・雨宮庸介氏をゲストに迎え、

人間の創造性を永い時間のなかで眺めながら、

わたしたちの現在を議論したいと思います。

ゲスト

### 雨宮庸介

Yosuke AMEMIYA

1975年茨城県生まれ。山梨県在住。

第15回グラフィックアート「ひとつは展」グランプリ。

現公益財団法人江副記念リクルート財団の奨学生として2011年に渡欧し、

2013年 Sandberg Institute (アムステルダム、オランダ) 修士課程修了。

2014年度文化庁新進芸術家海外研修員としてアムステルダム、その後ベルリンに滞在。

2014年から3314年まで行われるプロジェクト「1300年持ち歩かれた、なんでもない石」を開始。

2022年に帰国。現在、日本を拠点に活動。

主な個展に「雨宮宮雨と以」BUG、東京(2023)。

「H&T. A,S&H. B&W. (Heel&Toe. Apple,Stone&Human. Black&White.)」

SNOW Contemporary、東京(2021)。

主なグループ展に「土とともに 美術にみる〈農〉の世界——

ミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまで——」茨城県立近代美術館(2023)。

「Reborn-Art Festival 2021-22」日和山公園 旧レストランかしま、石巻(2021)。

「りんご宇宙—— Apple Cycle/Cosmic Seed」弘前れんが倉庫美術館、青森(2021)など。

### 港千尋

Chihiro MINATO

写真家。多摩美術大学教授、アートとデザインの人類学研究所所長。

芸術の発生、記憶の予兆などをテーマに制作と研究を続けている。

著書に『記憶——創造と想起の力』『インフラグラム——映像文明の新世紀』

『風景論——変貌する地球と日本の記憶』など多数。

『第2回浪漫台三線藝術季』(台湾)国際キュレーター。

### 榎木野衣

Noi SAWARAGI

美術批評家。多摩美術大学教授、アートとデザインの人類学研究所所員。

1991年に最初の評論集『シミュレシオニズム』を刊行、

他に『日本・現代・美術』『後美術論』『震美術論』など多数。

福島県の帰還困難区域で開催中の「見に行くことができない展覧会」

“Don't Follow the Wind”では実行委員を務める。

### 佐藤直樹

Naoki SATO

デザイナー、画家。多摩美術大学教授、アートとデザインの人類学研究所所員。

1994年に『WIRED』日本版創刊にあたりアートディレクターに就任。

1998年アジール・デザイン(現アジール)設立。

2012年から絵画制作へと重心を移す。

『東京ビエンナーレ』クリエイティブディレクター。

### 金沢百枝

Momo KANAZAWA

美術史家。多摩美術大学教授、アートとデザインの人類学研究所所員。

主な著書に『ロマネスクの宇宙 シローナの〈天地創造の刺繍布〉を読む』

『ロマネスク美術革命』『イタリア古寺巡礼』シリーズなど。

『工芸青花』でロマネスク美術や西洋工芸について連載中。

### 安藤礼二

Reiji ANDO

文芸評論家。多摩美術大学教授、図書館情報センター長。

大学時代は考古学と人類学を専攻。

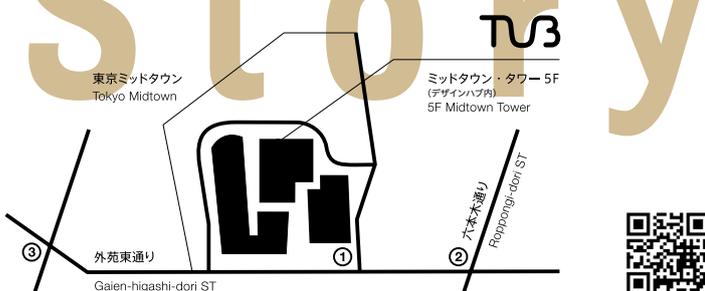
出版社の編集者を経て文芸評論家として活動。

主著に『神々の闘争 折口信夫論』『光の曼陀羅 日本文学論』『折口信夫』

『大拙』『列島祝祭論』『縄文論』『井筒俊彦 起源の哲学』など多数。

現在、「群像」で「空海」を連載中。

写真：港千尋



#### 会場アクセス

多摩美術大学 TUB

〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F(東京ミッドタウン・デザインハブ内)

① 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」8番出口より直結

② 東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路にて直結

③ 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約8分

#### お問い合わせ

多摩美術大学アートとデザインの人類学研究所

〒192-0394 東京都八王子市鋸水 2-1723

Email : [iaa\\_info@tamabi.ac.jp](mailto:iaa_info@tamabi.ac.jp) URL : <https://www.tamabi.ac.jp/iaa/>